

## 作業所日記

高島 明美

9月に入り、涼しい日が続くようになりました。時々30度近くまで気温が上がることもありますが、ジメジメとした暑さではなくなってきました。さわやかな秋の空になり、道端には彼岸花がきれいに咲き誇っています。先日の帰り道、その彼岸花の後ろに大きな丸いお月様がオレンジ色に輝いていました。「ああ、十五夜だ!」と思い出すと同時に、いきいきタイムの音楽でメンバーさんが歌っていた“十五夜お月さん”が頭の中をグルグルと回り始めました。



これはお月見団子を買わないと!と思いスーパーに行きましたが、もう売り切れてしまっていたので、大きな大福を買ってしまいました。娘たちには、「これは月見っぽくないね」と言われましたが、美味しかったので良しとしましたよ!

さてさて、今月のお仕事のお話です。今月の内職は、ず〜っと大忙し。畑チームから人手を借りることもしばしば…いえ、ほとんどでした。先月くらいから始めているカレンダーの金具留めのお仕事は一昨年にもやったことがあるのですが、カレンダーに枠を通し、その枠の両脇に丸いビスのようなものをつける作業です。今年は真ん中にもう一か所ビス留めする作業も追加されました。専門の器械にビスをセットし、カレンダーを設置して、上からガシャン!と押すのですが、この力加減がなかなか難しく、強すぎると金具が飛び出してしまうし、弱いとゆるくなってしまいます。職員でも、失敗が続出してしまいます。そんななか、力加減を習得済みの松村さん・毛利さんは、テンポよく数をこなしてくれました。鄭さんはスピードよくとはいきませんが、鼻歌まじりでご機嫌で作業していました。初挑戦の白井さん・越前屋さん・藤牧さん・桑原さんは、真ん中のビス留め専門で、張り切ってやってくれました。松本さん・青木さんはカレンダーを枠に通す作業を一手に引き受けてくれて、2枚入れせずに正確にこなしてくれました。そして、特にこの作業が気に入った様子なのが内藤さんです。箱折作業をお願いしても、「カレンダーやる。」「ゆきひさ、やる」と言って、やり続けていました。カレンダーの作業はそろそろ終わってしまいますが…ほかの作業もやる気を出して下さいね!ぜひお願いします!



カレンダーの合間にも、ひよこの箱折・検尿セット・ニベアの冊子封入などをこなしましたが、みなさんの集中力を見たのが“入浴剤の香り見本セット作り”です。4種類のタブレットを間違えないようにセットして、糊付けし、プラ板を張る作業です。タブレットの色が微妙に違うのを間違えないようにセットしなくてはなりません。職員が「これは何色だ?」と悩んでいる横で、メンバーさんは間違えずにセットしていきます。欠けているタブレットもしっかりはじいてくれています。ある日、全部で8000個ほど仕上げなくてはいけないのですが、納期まで2日の所で800しかできていないことに気づき…大慌てでメンバーさんにスピードアップをお願いしました。そして、何とか無事に納品でき、「ほら!できるじゃない!仕上がりも綺麗!」と、請負業者さんに褒めていただきました。忙しい日は続きそうです。木箱作り・検尿セットなど控えていますよ。まだまだのんびりとはいかなそうですね〜。

# 奥君日記より (2021年9月)



- 1日 さて早いもので、今日より9月だ。季節は正直なもので、何となく涼しくなった感じ！いきいき音楽は小林先生で、「9月ポイ歌」を皆で歌う。嬉しかったのは、花房君が今日は何故か時間を気にせず椅子に座っていた事。給食当番は、俺・田沢・白井さん。白井さんも上手にお皿を洗っていた。終わったら検尿の内職が待って居た。午前も検尿の内職をして、村田さん達と通信を折って今日貰って来た。
- 2日 今日の花売りは「竹ノ塚センター」で、職員内堀さんと一緒だ！センターに来ている人はコロナ禍のために、とても少ない。いつもより半分くらいしか売れなかったかも。受付の阿部さんが見せてくれた「角カエルの餌」は、何と金魚だそう？
- 6日 本日より畑班の俺達B班は「イエローインプのポット上げ」をやる。職員は内堀さんと木根さんだった。全部終わらず「明日もやるから！」と木根さん。「イエローインプ」とはビオラの種類、名前。
- 7日 今日の畑では、本当に久々の松村君とのポット上げをやる。午後は北療育センターへ草取りに行ったので、畑のポット上げは松村君一人でやったのかな？松村君はどう思っているのかわからないが、一緒に仕事をした俺は嬉しいし気分爽快だ。頼りになる男だと思う！
- 8日 畑では「葉牡丹の植え替え」をやる！午後は総合スポーツセンターへ体を動かしに行った。初参加の俺と村田さんは、皆より上手だと言われなんか照れくさい思いだ。村田さんが喜んでいれば、皆が楽しい！そして今度は10月20日水曜日だ。
- 9日 昨日の事を村田さんは、思い出して一人で体を動かしているのが印象的だ。でも本当に、すごいと思う村田さんだ！雨降りの今日は花田君が内堀さんとポット上げ。桑原君が一人「葉牡丹の植え替え」をやる。俺は秋葉さんと「何かの？」植え替え。
- 13日 本日より作業場の仕事の俺達B班だ。内職も新しい内職を始めた。簡単そうで難しいと思う。検尿の内職が好きで早ければ簡単かもしれない、初めてやったので遅いかもかもしれないが間違っっては無いと思う！
- 14日 さて自転車掃除が、今日より始まった「竹ノ塚」自転車だ。大久保君・俺・越前屋さん・職員は島田・吉井さん！島田さんより、自転車の部分に付いて「ここは、この道具を使った方が早い。」と言われて洗った俺達だ。それにしても色々な、道具があると思った。上手に使って、早く終わらせないと駄目だ！？自転車掃除が終わってからは、午後より水彩で「ヤブラン・トウモロコシ」を書いた。
- 16日 今日の自転車北綾瀬で「何と3台！」吉井さん・俺・白井さんで頑張った。帰り道は「増田さん・田沢さん」と一緒に帰って来た、話しのネタがない時に増田さんの今日の話題は受けて楽しい！増田さん、今日は北鹿浜公園へ行って来て、その話ばかりだった気がする。大体松本君が話に入って居るのが面白い。
- 21日 久々に「ギンナンミニ」の箱作りを俺・村田さんでやる。それはかなりの数の注文らしい頑張らないといけない。今日の水彩は「彼岸花・桃等！」誰が上手だったのかな！？
- 24日 一日畑で「A班の助人、俺と今井さん組」本多さん水越君組の植え替えだった。余りの天気よさで、畑にテントを張っての仕事だ。
- 27日 今日より畑班の俺達B班。植え替えの仕事等午後は斎藤君が助人に来た。午後はセブンイレブンの花の手入れに、B班より数人手伝いに行ったので何気に人数が少ないみたいだ。



# あしの家だより



【西新井ホーム】

石井 理恵

9月に入り昼間はまだ汗ばむように暑い日もあれば、肌寒い日もありジャンパーを着る日も出てきました。明久さんや勝さんは「今年は旅行に行ける？」と問いかけて来る日もありましたが、コロナ感染が落ち着いたらね！と伝えるとガッカリした表情を浮かべていました。まだまだ先になると思うと残念です。和也さんはテレビの前で歌番組を見ながら体を揺らしニコニコしながら歌を口ずさむ事もあり、見ている世話人まで楽しくさせてくれています。仁さんは時間があると箱折りをしてくれています。裕さんや奥さんは週末に自宅に帰られるのでコロナ感染は心配ですが、帰省を楽しみにしています。勝さんも帰省の何日も前から帰る事を楽しそうに「今週は、おうちに帰れるね！」と伝えてきます。服部さんは週2日間にホーム泊まりでしたが週3日泊まりになる事が決まり、メンバーとも慣れていけるといいですね。コロナワクチン接種、メンバーさんは終わりましたが、まだ打っていない方も多い状況ではありますが、感染が早く落ち着いて欲しいと願っています。手洗いうがい、消毒を徹底しながら感染を防いでいきたいと思います。

【西伊興ホーム】

土屋 裕美

暑かった夏もあっという間に通り過ぎ、9月に入り金木犀の花が咲き、あちらこちらで良い香りのする日々を過ごしながら、季節を感じています。8月のオリンピック、パラリンピックの熱も落ち着き、メンバーさんは、今度は台風情報を日々チェックして教えてくれます。

松本さんは、朝から張り切って今日は雨降りだから！と、メンバーに服装など伝えてくれます。花田さんは作業所から歩きで帰ってきて、次の日の雨を感知されているのかと思うほどでした。青木さんは自らポンチョを来て、行ってきます！と、小さく手を振りバイバイをして、作業所に出発されます。台風が通り過ぎた後には、気持ちの良い晴天が続き、今年は十五夜も綺麗な大きな満月を見られました。何か良い事がありますように、そんな願いを込めてメンバーも眺めていたようでした。

女性メンバーはお休みの日に、佐久間さんに買ってきてもらったスクラッチアートを1日1枚楽しんでいました。安倍さんはプリンセスシリーズがお気に入り、増田さんはお城シリーズ、田沢さんはくまのプーさんシリーズのキラキラになるシートや、レインボーカラーに浮き出る絵を出来上がる度に嬉しそうに見せてくれて、大切に部屋に飾ってあります。



これから、少しずつ寒くなっていきますが、インフルエンザや風邪、まだまだ心配なコロナもちろんのこと、朝晩日中の温度変化に気を付けて体調管理をしていきたいと思います。

## カルチャー教室 今後の予定

さをり	10月16日・30日	陶芸	10月 9日・23日
習字	10月13日・27日	水彩画	10月 8日・22日

## < 花売り情報 >

10月 7日 (木)・19日 (火)・27日 (水)	竹ノ塚センター
10月13日 (水) ビッグ・エー花畑店	10月14日 (木) ベルクス南花畑店
10月20日 (水) ビッグ・エー南花畑店	10月21日 (木) ベルクス古千谷店

## 畑日記

内堀 真樹子

畑に行く道中にキンモクセイの木があります。今年は例年よりもキンモクセイの開花が早いようで、キンモクセイの香りに秋の訪れを感じました。

今月は、北鹿浜交通公園の花壇の植え替えがありました。トラックに葦の会で育てたコスモスやトウガラシ・マリーゴールドなどや道具を積んでいざ植え替えへ。秋葉職員の指示のもとでトラックからの荷下ろしをして準備完了です。序盤は公園の出入り口付近にある踏切の花壇に植えてあるお花を抜いて、肥しや腐葉土を入れて混ぜる耕転作業。越前屋さん・斎藤さん・桑原さん・



松本さんたちがスコップを使用して作業を行いました。その後秋葉職員が花壇のデザインに沿って、植えこむ花を置いた後に桑原さん・遠さんが植えこみます。この流れで、公園真ん中の花壇、一輪車付近の花壇の植え替えを行っていきました。公園内の所々に花車があり、花を抜く作業からデザイン後の植え込みまでは、ベテランの安部さんと大久保さんが各花車を一人で行いました。みんな手際よくそれぞれの作業を行って、最後の水やりも松本さんと斎藤さんが丁寧に行いました。片付けも終わると秋葉職員が「思ったよりも大分早く終わって良かった」と言っていて、みんなも嬉しそうでした。まだ少し暑い中での作業でしたが、久しぶりの北鹿浜公園の植え替えだったので、ちょっとしたイベントのようで、越前さんは楽しかった！と言っていました。

他に北療育センターの除草作業もあったり、内職も忙しく、畑へ行く人数も少なかつたりしましたが、畑にいるメンバーで日ごろ行っている植え替えや追肥作業、土作りをせっせと行っています。少し暑さが治まってきたので、8月末に植えたパンジーやピオラは、もう1番最初の花が咲き始めました。秋になってこれからどんどん花が咲いていくのは楽しみです。



ハウスで夏の間使用していた扇風機は桑原さんが倉庫に片付けてくれました。またハウスに寒冷紗をかけて日差しを抑えていましたが、小さいハウスの寒冷紗だけ他のハウスより先に外しました。外す作業は今井さんをお願いしましたが、止めていたクリップを受け取ってバケツに集める作業は大山さんに行ってもらいました。今井さんは花がいたまないように慎重に寒冷紗を外してくれます。畑の作業が終わって畑

を出て作業所に戻る時間に、いつも北療育センターの送迎バスとすれちがいま す。センターに除草作業に行っているの、バスの運転者さんもメンバーの顔を覚えていてくれ、いつも笑顔でメンバーに手を振ってくださいます。みんなも嬉しそうに手を振っているの、内堀もみんなと一緒に運手さんに手を振っています。笑顔で手を振りあっているこの場面を見ると、今日も畑の仕事が出来て良かったと思う今日この頃です。

### 編集後記

秋の訪れを確かに感じる今日この頃、「緊急事態宣言」が解除され次の感染拡大を心配しつつも、ちょっとホッとする日々です。さて、秋と言えば食欲・スポーツ、そして読書の秋。今回も本のお話を少し。皆さんは「中島京子」さんをご存知でしょうか？「小さいうち」で直木賞を受賞。「長いお別れ」では、厳格な父が認知症になったことから、そんな父と向き合う事で自分自身と向き合う家族を描き、映画にもなりました。そんな中島さんの新刊「やさしい猫」を読みました。家族小説として読み易かったですが、内容は今話題になっている入管問題。自分があまりにも知らなかったことに愕然とする。そして作中での弁護士の言葉が胸にささり、広がっていきます。人として生きる権利さえも奪ってしまう日本の現状に慄然とする。他人ごとではない。自分がもし同様な目に合うとしたら・・・。とても読み易いので、機会があれば是非！同じ中島さんの本ですが唯一の児童文学「ハプテトルハプテラン」ハプテトルとは備後地方で「ふてくされる」といった意味。私の郷里は備前地方ですが使います。この言葉の響きの懐かしさにひかれて手に取ったのですが、少年の心の動きを暖かく、的確にとらえてとてもさわやかな読後感のある作品です。私には方言も懐かしく楽しく、ほっこりとする本でした。秋の夜長、まだまだ自粛も続く日々。いかがでしょうか(´\_`) (池田)